

むすび丸新聞

2022年10月号

企画協力：仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会
むすび丸新聞編集室
(河北新報社営業局内 TEL.022-211-1318)



むすび丸新聞って？

むすび丸は仙台・宮城のおいしいお米でふっくら炊き上げた『おむすび』顔に、『伊達政宗公のかぶと飾り』が特徴の、仙台・宮城観光PRキャラクターです。いろいろな場所に出掛けて、宮城県の観光をPRすることがお仕事。隔月で、むすび丸が仙台・宮城の旬な魅力をお届けします。

秋色に輝く栗駒山麓を目指し、ご当地ならではの食や伝統を体感

艶やかな野山の彩りと文化の香りを求めて 情緒あふれる宮城県北の秋旅へ！

涼やかな風を肌に感じる季節になったら錦秋で華やく県北の旅路へ。雄大な山並みに自然の神秘を感じたあとは郷土の名物丼で腹ごしらえ。加美町出身の漫画家のルーツや産金の歴史、地元民が愛する温泉、最後はお土産選びまで存分に楽しんで。

※新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、安全に観光を楽しみましょう。

ゴールドグット
出来るかな〜☆



容器に入れてアクセサリーなどにして持ち帰ることが可能です。直売所では、金箔工芸品や涌谷名物のかりんとうなども取りそろえています。

事場。引き出しにも先生の愛用品が詰まっています。また、描き下ろしイラストや原画も展示されており、ファンの聖地になっています。

フワフワジューシーな 具の油麩が絶品の名物丼

冷蔵技術が無かった時代、登米の豆腐屋が考案したと伝わる「油麩（あぶらこ）。小麦粉のタンパク質成分であるグルテンを油で揚げたお麩で、香ばしく弾力があるのが特徴です。その油麩を使って、地元旅館の女将さんが考案したのが「油麩丼」。肉が苦手な人のために生み出したメニューで、カツ丼のカツの代わりに油麩を使用し、そのおいしさから地域一帯に広まりました。油麩にたつぷりとダシ汁を吸わせて玉子からめ、ネギの風味とともに味わうこの丼料理は、まちおこしイベントなどを通じて、いまや全国的な知名度を誇ります。

地元で愛される温泉施設で のんびりリフレッシュ時間



じゃ〜ん！
ペンチにも
ほのぼのくん！

色麻町民の憩いの場として、はもろろん、日帰り温泉施設として町外からも多くの利用者を集める「色麻町」平沢交流センター「かっぱのゆ」。アルカリ性の源泉掛け流しの湯は、まるで肌にやさしく、保温保湿効果も期待できます。船形連峰を望む露天風呂が特に人気で、時間を忘れて漬かれたい心身ともにリフレッシュ。100畳の大広間や食事処など、温泉以外の施設も充実しています。毎朝、地元の新鮮な食材が届く農産物直売センターも多くの人にぎわいます。

故郷に帰ってきた心地で ログハウスの休日を満喫

世界農業遺産に認定された大崎耕土の広大な田園風景を背景に、木の温もりに包まれるような滞在が楽しめる「美里町交流の森・交流館でんえん土田畑村（どたばたむら）」。



素敵な商品が
たくさん！！

大崎の名産が集まる蔵で 巨大な釜神様がお出迎え

旅の締めくくりは、古い酒造の建物を利用した商業施設「食の蔵醸室（かむろ）」内にある、大崎市観光物産センター「DOZO土蔵」に立ち寄り、地元の特産品や工芸品のショッピングを。この地域自慢のお米はもちろん、地酒や発酵食品、郷土料理のしそ巻き、鳴子こけしなどバラエティー豊かな品ぞろえで、思わず目移りしそう。大崎市のゆるキャラ「バタ崎さん」の公式グッズも多彩に取りそろえ、ここにしかないものも。羽を広げたキョウトを見た目のぬいぐるみピンバッジが人気商品です。

奈良の大仏を輝かせた 金産地の名残を体感

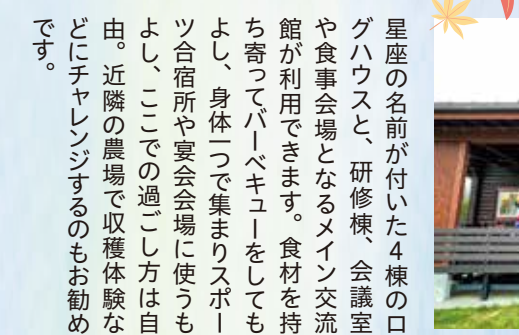
奈良時代に金の採掘が盛んに行われた、国史跡である涌谷町「黄金山産金遺跡」。その歴史を展示資料や体験メニューなどで楽しく学ぶことができるのが「天平ろまん館」です。常設展示では、東大寺の大仏に鍍金（とぎん）した金を産出した陸奥国小田郡（むつのくに）おだぐんの歴史を紹介。大仏開眼を描いた平山郁夫氏の大きな陶板画も展示されています。また、浅いお椀（わん）状の容器を使う「椀がけ法」による砂金採り体験も人気。採取した天然砂金は、小さな

人気キャラが生まれた 創作活動の現場を再現

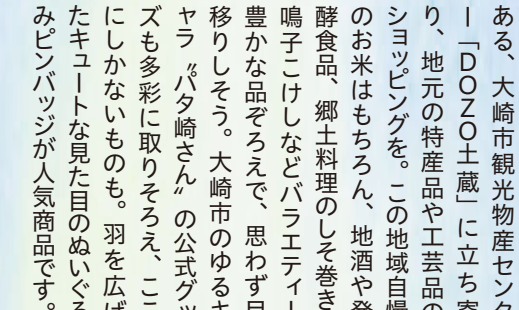
漫画やアニメ作品などで、子どもから大人まで幅広く魅了している「ぼのぼの」の作者、いがらしみきお先生は加美町出身。この人気キャラクターが生まれた背景や作品の魅力に触れることができる「いがらしみきおぼのぼの館」が今年3月、加美町中新田図書館の一角にオープンしました。目玉は、いがらし先生の寄贈品によるリアルに再現された仕



旅の疲れを
癒やそう♡



自然の中で
ゆったりと
過ごせるね



旅の締めくくりは、古い酒造の建物を利用した商業施設「食の蔵醸室（かむろ）」内にある、大崎市観光物産センター「DOZO土蔵」に立ち寄り、地元の特産品や工芸品のショッピングを。